

■令和7年5月19日 【うつくしくあるく】

今週はキックベースボールクラブの皆さんが優勝をいたしましたので、賞状とトロフィーをお渡ししたいと思います。おめでとうございます。よくがんばりました。

次に、先週の「いいところみつけたよ」ですが、なんと理科室の横のトイレのスリッパを、きれいに並べてくれている児童がいました。いったい何年生の子どもでしょうか？6年生の男の子でした。すばらしいですね。並べてくれた男の子、本当にありがとうございます。

さて、先週は「生き物からできていない食べ物、飲み物はなんでしょう。」がお題でした。こちらもすごくいろいろな答えを書いてくれました。ありがとうございます。

水、塩、氷などなどたくさんの答えがあがっていました。牛乳などもありましたが、なかなか悩ましいですね。でも牛乳はもともと牛からできているので、やはり生き物からできている飲み物ですよね。ということで、正解は、塩、水、氷などになります。いずれの答えも、みなさんが一生懸命考えた証だと思います。だんだん考えることが習慣になればと願っています。

さて、今日は、ひとつの詩を読みたいと思います。まずは、校長先生が読むので、よく聞いてください。

こどもが
せっせっ せっせっ とあるく
すこし きたならしく あるく
そのくせ
ときどき ちらっと うつくしくなる

では、校長先生に続いてよんでみましょう。

それでは、246年と135年にわかれて1行ずつ読みます。まずは246年さんどうぞ、次は

135年生さんどうぞ。かわりばんこに読みます。前後交替して読みましょう。どうぞ。

だんだん、じっくり丁寧に読めてきましたね。

いい文章は、読めば読みほどスピードはゆっくりになっていくものです。

こんどは男女でわかれて読みましょう。

まずは男子からどうぞ。次は女子です。どうぞ。これも前後交代して読みます。

最後は、どんな風景、光景かイメージしながら各自が自分のペースで読んでみましょう。どうぞ。では、この詩で自分が気になるところ、いいなあと思うところを少し周りの人と聞きあってみましょう。

どうですか？じゃあ、今から校長先生がいくつか小さな質問をしながら話しますので、みなさんは頭の中で考えてくださいね。

まず「子ども」は、何歳ぐらいかなあ。男の子？女の子？一人かなあ、それとも2人以上かなあ。あるいは、季節はいつかなあ？またどこを歩いているかな？こんなふうに、詩は一つの言葉をじっくりイメージしながら読むと実におもしろいものです。次の「せっせっ せっせっ」ってどんなふう？次の「きたならしく」もいいですね。普通はきたならしく歩くってわざわざ書きませんよね。どんなふうにあるくと「きたならしくなんだろう？」少しまわりの人ととききあってみてください。

しかもちらっとうつくしくなる！うつくしい歩き方ってどんな歩き方かな？

どうでしょう。こんな短い詩ですが、いろいろな読み方、味わい方ができましたね。では、いつものお題です。今回のお題なんだと思いますか？

そう、この詩の題名はなんでしょう？

すこしまわりの人と聞きあってみてください。

わかったよという人は、いつものように校長室前の紙に書きに来てくださいね。今週も最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。